



CSR Charter
CSR憲章





Contents

はじめに	1
創業の精神・企業理念	3
SCREENグループ CSR憲章	5
SCREENグループ 行動規範	7

創業の精神を継承し、 社会の持続可能な発展に貢献する

創業の精神(「思考展開」と「志高転改」)は SCREENグループのCSRの原点です

SCREENグループのルーツは、銅版画家であった石田才次郎が1868年に京都で創業した「石田旭山印刷所」にあります。社寺仏閣や山紫水明の風景画を素材とした銅版印刷によって京都の歴史と伝統を世界に広め、文化の発展に貢献したいという思いは、今日の「企業の社会的責任(CSR)」に通じるものと言えます。この創業の思いは、技術革新と共に世代を超えて銅版印刷から石版印刷へ、そして写真印刷が可能な「写真製版用ガラススクリーン」の初の国産化へと継承されていきました。

その後「石田旭山印刷所」のガラススクリーン研究部門が独立して「大日本スクリーン製造株式会社」が誕生し、創業以来培われてきた「思考展開」の精神は独自技術である画像形成技術にさらに磨きをかけ、他分野への応用展開へと積極的なチャレンジを続けました。その結果、印刷関連機器をはじめ半導体、液晶などエレクトロニクス産業分野へと事業領域を拡大し、社会の電子化、高度化に貢献する世界規模の会社へと成長してきました。

「思考展開」に加えて、常に高い志を持って改革・改善に努めるもう一つの「志高転改」の精神により、組織や制度など会社を内面からも進化させていく企業改革を続けてきました。

今、そして未来を生きる我々SCREENグループの従業員は、この2つの「創業の精神」をこれからも継承し、オープンイノベーションを積極的に活用した新事業分野への進出と飽くなき企業改革へのチャレンジに情熱を持って取り組み、グループのたゆまぬ進化と成長を目指すことで社会の持続可能な発展に貢献していきます。



SCREENグループの企業理念を根幹に 「社会の持続可能な発展に貢献するSCREEN」であり続ける

SCREENグループは、今日のエレクトロニクス産業や印刷産業において、「最先端の高度な技術」「生産性・品質の向上」「環境負荷の低減」を提供し、常にお客さまのモノづくりに貢献する“プロセスイノベーション”を通じて、社会の発展に大きく寄与することを信条としています。近年、事業環境の変化が著しく加速していますが、さらなる企業価値向上を目指して、グループ全体のコミュニケーションを深化させ、事業運営の体制強化を図ってまいります。

私たちは、研究開発型企业として定めた「企業理念」である「未来共有」「人間形成」「技術追求」のもと、グループの成長とビジョンを描いた「経営大綱」の実現に向け、日々邁進しています。グローバル企業として世界で活躍する私たちは、法令順守はもちろんのこと、より一層の高い志と情熱、誇りを持って行動していかなければなりません。

SCREENグループの「創業の精神」と「企業理念」のもと、全ての従業員が優れた技術を追究し、豊かな人間性を育む——そこから生まれる製品・サービスの提供を通じて企業の社会的責任を果たし、お客さまの事業の成長と持続可能な社会の発展に貢献していくことが私たちの使命です。

従業員一同、ここに定めた「CSR憲章」を常に心掛け、規範ある行動の実践に努めてまいります。

株式会社SCREENホールディングス

代表取締役 取締役社長
最高経営責任者(CEO)

廣江 敏朗

創業の精神・企業理念



● 創業の精神

研究開発型企業として生まれたSCREENグループの事業展開の信条

「**思考展開**」 常に「自社の技術や製品にどう結びつくのか」、「何が不足しているか」を考え、新しい事業や製品の創造に果敢に挑む強い精神

「**志高転改**」 変化の激しい時代に、常に改革・改善を求め、高い志のもとに最大限の成果を追求し、企業価値のさらなる向上に努める改革の精神

「**5 S**」 Service、Safety、Speed、Saving、Study
業務を遂行するうえで常に念頭におくべき心得



● 企業理念

「未来共有」 未来をみつめ社会の期待と信頼に応える

「人間形成」 働く喜びを通じて人をつくる

「技術追究」 独自技術の追究と技術の融合を推進する

● 経営大綱

SCREENグループが展開する事業のあるべき姿とその実現に向けたグランドデザイン。「Fit your needs, Fit your future」のキャッチフレーズのもと、その実現にあたる。

● CSR憲章

企業理念にもとづく行動原則を示し、SCREENグループの全役員・従業員が心がけるべき基準を「行動規範」として定めたもの。

※CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)

企業が、自らの活動が社会および環境に及ぼす影響を踏まえ、法令順守はもとより倫理的で透明性のある行動を通じてステークホルダー(利害関係者:顧客、従業員、株主、債権者、取引先、地域社会、行政機関など)の期待に応えることにより、社会の持続可能な発展に貢献すること。

SCREENグループ CSR憲章

SCREENグループは、「未来共有」「人間形成」「技術追求」の企業理念のもと、未来をみつめ社会の期待と信頼に応えることにより、社会の持続可能な発展に貢献します。

1. 社会に有益な製品・サービスの提供

SCREENグループは、技術の追求により、社会に有益な製品やサービスを提供し、豊かな未来の共有を目指します。

2. 人権の尊重と働きやすい職場環境

SCREENグループは、経営の原点は人にあるとの思いのもと、一人ひとりの人権を尊重し、多様な人材の活躍を支援します。また、従業員が安心して働くことができる安全で健康的な職場環境を整備します。

3. 人と地球に優しい環境形成

SCREENグループは、地球温暖化や化学物質汚染などの環境問題を、社会の持続可能な発展への本質的な課題と捉え、人と地球に優しい環境形成を意識した事業活動に取り組みます。

4. 健全で効果的な企業統治

SCREENグループは、健全で効果的な企業統治により、透明性の高い経営を実践します。

5. 法令・社会規範の順守

SCREENグループは、各国の法令や社会規範を順守し、公明正大に良識ある企業活動を展開します。



6. 情報・知的財産の適切な管理と活用

SCREENグループは、情報セキュリティを整備して、営業秘密、個人情報等の情報および知的財産を各国法令および社内ルールに従い適切に管理し、その活用を図ります。

7. 企業情報の適切な開示

SCREENグループは、ステークホルダーとのコミュニケーションを積極的に行うとともに、グループに関する情報を適時かつ適切に開示します。

8. 良き企業市民としての社会貢献

SCREENグループは、社会の持続可能な発展のために、良き企業市民として社会貢献活動に積極的に取り組みます。

9. 反社会的勢力の排除

SCREENグループは、社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力とは一切の関係を持ちません。

SCREENグループ 行動規範

基本姿勢

私たちSCREENグループの全役員・従業員は、新たな価値の創造にチャレンジし続け、常に未来志向で社会と向き合うことで、より良い社会の実現に貢献します。

また、働く喜びを通じて自己の人格を高め、品位と良識のある社会人として誠実に行動します。

1

社会に有益な製品・サービスの提供

SCREENグループは、技術の追究により、社会に有益な製品やサービスを提供し、豊かな未来の共有を目指します。

① 製品・サービスの創造

私たちは、常に好奇心を持って市場に目を配り、時代の変化に敏感であり続けます。また、アイデアの創出に努め、チャレンジ精神を忘れることなく、新たな価値を持つ製品やサービスを創造します。

② 市場ニーズに合った製品・サービスの提供

私たちは、継続したマーケティング活動を行い、市場ニーズに合った製品やサービスを提供します。

③ 品質向上と安全性確保

私たちは、顧客の満足と信頼を得られるよう、製品やサービスの品質向上と安全性確保に努めます。

④ 顧客へのサポート

私たちは、顧客とのコミュニケーションを大切にし、製品やサービスに関する情報提供を積極的かつ適切に行います。また、顧客の要望や相談に誠実、迅速かつ的確に応え、安定した製品稼働をサポートします。

2

人権の尊重と働きやすい職場環境

SCREENグループは、経営の原点は人にあるとの思いのもと、一人ひとりの人権を尊重し、多様な人材の活躍を支援します。また、従業員が安心して働くことができる安全で健康的な職場環境を整備します。

2-1 人権の尊重

1 基本的人権の尊重と差別の禁止

私たちは、一人ひとりの基本的人権を尊重し、人種、皮膚の色、民族性、宗教、性別、性的指向、出身国、年齢、心身障がい、遺伝的特徴などによる差別的な処遇や言動は行いません。

2 ハラスメントの禁止

私たちは、セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント等、個人の尊厳を不当に傷つける行為は行いません。

3 児童労働・強制労働の禁止

私たちは、就業の最低年齢に達しない児童の労働およびあらゆる形態の強制労働を認めません。

4 労働者の権利の尊重

私たちは、従業員の結社の自由、労働組合への加入、労働組合活動への参加の権利を各国法令に従い尊重します。

5 人権侵害への加担禁止

私たちは、自らが人権を侵害せず、他者による人権侵害にも一切加担しません。

6 文化・慣習の尊重

私たちは、それぞれの国や地域の文化や慣習の理解に努め、これを尊重します。

2-2 働きやすい職場環境

1 能力を発揮できる職場環境

私たちは、多様な価値観を相互に認め合い、一人ひとりが能力を発揮できる職場環境を整備します。

2 多様な人材の育成と積極活用

私たちは、従業員の成長を支援する制度および従業員を公正に評価し処遇する制度を導入して、多様な人材を育成し積極的に活用します。

3 労働基準に関する法令の順守

私たちは、賃金、労働時間等の労働基準に関する各国法令を順守します。

4 安全で健康的な職場環境

私たちは、安全で健康的な職場環境を整備するとともに、職場の安全衛生や労働災害の防止に関する各国法令や関連するルールを順守します。また、自然災害やパンデミック等の緊急事態への備えを構築し、従業員の安全確保に努めます。

3

人と地球に優しい環境形成

SCREENグループは、地球温暖化や化学物質汚染などの環境問題を、社会の持続可能な発展への本質的な課題と捉え、人と地球に優しい環境形成を意識した事業活動に取り組みます。

1 環境に配慮した製品・サービスの提供

私たちは、地球環境に配慮した製品やサービスを積極的に開発し、提供します。

2 事業活動における環境負荷低減の推進

私たちは、持続可能な社会の実現に向け、事業活動の全段階で環境負荷低減や汚染防止に取り組みます。

3 環境に関する法令の順守

私たちは、環境に関する各国法令を順守し、自主基準や目標を設定して、その達成に向けて取り組みます。

4

健全で効果的な企業統治

SCREENグループは、健全で効果的な企業統治により、透明性の高い経営を実践します。

1 グループ経営

私たちは、SCREENグループ全体で内部統制システムを構築し、グループ一体となって経営課題に取り組みます。

2 効率的な業務遂行

私たちは、ムダの排除と迅速な行動を心がけ、効率的に業務を遂行します。

3 リスク管理体制の整備

私たちは、企業活動におけるリスクを把握してリスク管理体制を整備します。また、大規模災害等の不測の事態に際しても継続して製品やサービスを提供できる事業体制を構築します。

4 財務報告の信頼性確保

私たちは、関連法令や会計基準等にもとづいて適切に内部統制を構築し運用することにより、財務報告の信頼性を確保します。

SCREENグループは、各国の法令や社会規範を順守し、公明正大に良識ある企業活動を展開します。

5-1 取引に関連する事項

1 公正な競争および取引

私たちは、公正な競争や取引を制限する行為(カルテル・談合など)を禁止する各国の競争法を順守します。

2 適切な購買取引

私たちは、公正に選定した取引先と適正な取引関係を保ちます。取引上の有利な立場を利用して不利益な条件を押し付けることなどの不正な行為は行いません。

3 接待・贈答の制限

私たちは、各国の法令で禁止されている、または一般的なビジネス慣習を逸脱した接待や贈答は行わず、またこれを受けません。

4 行政機関・政治団体との健全な関係

私たちは、国内外の公務員およびこれに準じる者に対して、接待や贈答を行いません。また、各国の法令で認められる範囲を逸脱した政治献金を行いません。

5 安全保障貿易管理の徹底

私たちは、国際的な平和と安全を維持するため、貨物(製品、部品、設備、原材料)や技術(ソフトウェア、データ、図面、資料)の輸出を行う場合は、各国の輸出管理関連法令や社内規定を順守し、該非判定、顧客審査、許可申請等の必要な輸出管理手続きを行います。

⑥ サプライチェーンにおける社会的責任の推進

私たちは、サプライチェーン全体での社会や環境に対する責任と企業倫理の向上への取り組みを重視し、「SCREENサプライヤー行動規範」を定めて取引先にも賛同と協力を期待します。

5-2 会社と個人に関する事項

① 会社と個人の利益相反行為の禁止

私たちは、自己または他者の利益のために、会社の事業と競合する事業活動に関わる行為や会社の利益と対立する行為は行いません。

② 会社の信用・利益を害する行為の禁止

私たちは、インターネット上を含め、社内外において会社の名声や信用を傷つける行為や会社の利益を害する行為は行いません。

③ 会社資産の不正利用の禁止

私たちは、会社が有する機器、設備、情報、知的財産等の有形・無形の資産を適切に管理するものとし、これを自己または他者の利益のために不正に使用しません。

④ 不適切な経費請求の禁止

私たちは、会社の経費を使用する場合は、社内ルールに従うものとし、不適切な経費の請求は行いません。

⑤ インサイダー取引の禁止

私たちは、SCREENグループまたは顧客あるいは取引先のインサイダー情報を有している場合は、これらの情報の公表前に、関係する株式等の取引を行いません。また、業務上必要と認められる者以外には、インサイダー情報を漏らしません。

6

情報・知的財産の適切な管理と活用

SCREENグループは、情報セキュリティを整備して、営業秘密、個人情報等の情報および知的財産を各国法令および社内ルールに従い適切に管理し、その活用を図ります。

6-1 情報の適切な管理

① 営業秘密の適切な管理

私たちは、営業秘密をその作成、保管、開示、廃棄等のすべてのプロセスにおいて社内ルールに従い適切に管理し、意図しない開示や漏洩を防止します。

② 他者の営業秘密の適切な管理

私たちは、他者から営業秘密を取得する場合には適切に入手するものとし、取得した営業秘密を当該他者との取り決めにもとづいて適切に取り扱います。

③ 個人情報の適切な管理

私たちは、個人情報が重要な情報であることを認識し、個人情報をその取得、記録、利用、廃棄等のすべてのプロセスにおいて適切に取り扱います。

6-2 知的財産の適切な管理と活用

① 知的財産の創出、保護、活用

私たちは、事業競争力の強化や他社製品との差別化のために知的財産が重要であることを認識し、積極的な知的財産の創出に励むとともに、これを適切に権利化して保護し、効果的に活用します。

2 他者の知的財産権の尊重

私たちは、他者の知的財産権を尊重します。他者の特許権等の侵害を未然に防止するために、製品やサービスの開発、製造、販売等の段階で適切な事前調査を実施します。また、他者の著作物を利用する場合は、適法に取り扱います。

7

企業情報の適切な開示

SCREENグループは、ステークホルダーとのコミュニケーションを積極的に行うとともに、グループに関する情報を適時かつ適切に開示します。

1 ステークホルダーとのコミュニケーション

私たちは、ステークホルダーとの積極的なコミュニケーションを大切にし、企業活動への理解を促進するとともに、ステークホルダーの意見やニーズに耳を傾け、企業活動に役立てます。

2 企業情報の適時かつ適切な開示

私たちは、企業情報を適時かつ適切に開示し、説明責任を果たします。

8

良き企業市民としての社会貢献

SCREENグループは、社会の持続可能な発展のために、良き企業市民として社会貢献活動に積極的に取り組みます。

1 社会貢献活動への積極的な参加

私たちは、SCREENグループとして社会貢献活動に積極的に取り組みます。また、従業員の自発的な社会貢献活動への参加を支援します。

SCREENグループは、社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力とは一切の関係を持ちません。

① 反社会的勢力の排除

私たちは、反社会的勢力の不当な要求に毅然たる態度で臨み、断固としてこれを拒絶します。また、反社会的勢力とは取引関係その他一切の関係を持ちません。さらに、顧客や取引先に対しても、反社会的勢力との関係の排除を要求します。

